

国労東海

組合本部
東京港区新橋5・15・5
交通ビル4階
発行責任者 杉本洋一
編集責任者 小山謙一

働きやすい職場を作り上げる

東海本部第28回大会・代議員発言

第28回国労東海本部定期大会
では代議員15人が発言し、パワー
ハラスメント問題、職場の要求
獲得の闘い等職場実態が数多く

報告されるとともに、公共交通
の担い手として無人駅反対の

参議院選挙では、与党の自
公で過半数となりました。この
結果は、憲法改悪、社会保障切
り捨て、原発再稼働、消費税増
税など、労働者や国民の命が脅
かされる問題に直面しています。
また、労働者の働くルールの
問題でも、JAL不当
解雇や社保庁分限免職
問題など多くの課題が
残っています。

一方で、毎週金曜日
を中心に全国各地で原

求める行動が取り組まれており、
こうした闘いに私たちは、小さ
くまとまるのではなく、広範な
仲間とともに取り組みを強化し
て継続的に取り組んでいくこと
が重要であり、東海本部は先頭
「ぼくが先頭に立って他の仲間
の中で、「国労はまだこんな
仲間がいる」「こんなにごい
とくみができる」と感想を述
べています。また、管理職のパ
ワハラに立ち向かった国労の仲
間に共感して加入した仲間は、
「ぼくが先頭に立って他の仲間

た若い仲間の期待に応えるため
にも、「国労に入ってよかった」
と思いつけられるようにするた
めにも、次の拡大の目標に向かっ
て前進することが何よりも大切
ではないかと考えています。
大会のメイン・スローガンで
ある「つくる職場
に労働運動を」「ひ
ろげよう闘いを職場
に、地域に、全国に」
を今こそ、全力で取
り組みたいと思いま

さらなる組織拡大の前進目指す

杉本委員長の就任の挨拶(要旨)

に立つて積極的に闘っていきたく
いと考えています。

2点目は、国労の最重要課題
である組織拡大の取り組みにつ
いてです。

昨年、加入した若い仲間は、
貨物総行動や全国大会を傍聴す

のためにも奮闘したい」と決意
しています。

組織拡大に動いた職場・分会
では、職場が活性化し、次の拡
大目標を決めるなど確実に変化
が生まれてきています。

加入を決意してくれたこうし

を心から歓迎したい。教訓を学
び、組織拡大に取り組んで行き
たい。憲法改悪の問題で情勢は
緊迫している。東海本部として
機関紙等で学習・宣伝する取り
組みを行ってほしい。

福田哲久(静岡)

パワーハラスメントによる自
殺という痛ましい出来事が起こっ
た。両親も「会社のいじめでは
ないのか」と怒りの声を上げて
いる。会社は「物言わぬ労働者
つくり」を目指していて、これ
に対する反撃が必要だ。

亀井和弘(名古屋)

武豊線で駅の今までは違う無
人化策が出されている。利用者・
住民から安全問題や駅の荒廃、
非行の温床化になるのではない
かの懸念が寄せられている。利
用者アンケートをもとに駅の無
人化反対で自治体に要請してい
る。

那賀英徳(新幹線)

地震発生時における避難訓練
や設備等の安全確認、作業者の
安全確保等の確立が早急に求め
られている。定期健康診断につ
いては勤務時間内に受診できるよ
う、労働協約改訂交渉時に強く
会社に要求したい。



就任の挨拶をする
杉本委員長

貨物総行動や全国大会を傍聴す

加入を決意してくれたこうし

加入を決意してくれたこうし

(2面に続く)

入院、地震、火災、交通事故… 一度も経験しない人はいない。

自分の身に起こってからでは遅いのが災害です。
何事も備えあれば憂いなし。
あなたや家族の幸せを自然災害や人災から守るために、
しっかり組み合わせて幅広く保障します。



火災共済/地震風水害共済/交通災害共済/生命共済/入院共済

家族の幸せを災害から守る

(1面からの続き)

加藤均 (名古屋)

職場の機械設備で事故が発生。その背景には、機械・器具の点検の教育が不十分なことにあり、会社へ教育をきちんと行うよう要求する必要がある。

澤木良直 (新幹線)

国労が安全衛生委員会に参加して、委員会後の報告を情報で発出し、組合員に周知している。5月から通勤経路の見直しが行われた。JRと私鉄、地下鉄を数回乗り換えるものに変わった。利便性の良い経路にすべきと考

鈴木昭彦 (静岡)

この間の貨物の取り組みに対しての協力にお礼を申し上げる。組合費が年収ベースにすれば負担が大きいとの若手組合員から声が出ている。国労本部として組合費のあり方の検討をお願いしたい。

近藤幸次 (新幹線)

休日労働についてはゼロにはなっていない。年度が始まっていきなり休日労働が組み込まれていたりする一方で、年休を申し込んでも入らない。会社は休日労働をなくす努力をしていない。

大西憲二 (名古屋)

若手社員は会社に不満を持っているが、「国労に入れ」と声をかけても、「ユニオンに期待はしないが、会社に人事権で何をされるかわからない」との回答であった。今後も粘り強く働きかけたい。

二戸修 (新幹線)

車両所で一時金カットが続いており、その理由は、「点検箇所」の失念、「チェックシート」の記入漏れ」等だ。作業のあり方にも問題がある。チームワークで作業ができる環境を作り上げ

柴田研悦 (静岡)

三大要求の一つの設備改善について、通路の屋根設置について、他労組とも一致して「屋根設置」「雨除け」の要求を提出した。

長尾義浩 (新幹線)

還流の期間を5年から3年に短縮するよう、労働協約改訂交渉で会社に要求して欲しい。若手社員の中でも「5年も乗務を

木下淳治 (名古屋)

リニア新幹線について、東海本部として学習会等を行うべき。駅で勤務する組合員にとって、第3者加害が増え、内容も悪質化してきている。駅では深夜には二人勤務にすること併せて、身体を守る上からも建物等を強化する必要がある。

小海誠 (静岡)

支部の会議では初めに各分会の活動報告を受けている。その中で出向先の勤務問題が出され

紙関機 第7回コンクール 最優秀賞 「大阪こくろう新幹線・かべ新聞」

第28回大会では、東海本部第7回機関紙コンクールの表彰式を行いました。

今回は、分会や支部から13紙の応募があり、選考の結果、「大阪こくろう新幹線・かべ新聞」(大阪新幹線地区本部)が最優秀賞を受賞し、北山副委員長から二戸地本執行委員に表彰状と副賞が授与されました。

最優秀賞としての選考理由は、「定期発行を継続しながら紙面構成が優秀であり、読みやすい」などでした。その他の受賞機関紙も発行部数や紙面内容などが考慮されました。

今回受賞された機関紙は、今後とも定期発行に努めながら、さらなる機関紙の充実を図るとともに、惜しくも各賞に選ばれ



大阪新幹線地区本部・二戸さんに最優秀賞を授与

なかつた機関紙も、「組合員の声」「職場の様子」「分会・支部の活動」などを伝え、組合員と機関とをつなぐ役割を発揮できるよう奮闘されることを期待します。

▼最優秀賞(1紙)

「大阪こくろう新幹線・かべ新聞」(大阪新幹線地区本部)

▼教宣部長賞(1紙)

「国労浜松」(浜松支部)

▼優秀賞(1紙)

「東京駅分会ニュース」(新幹線地本東京駅分会)

▼努力賞(3紙)

「国労第一運輸所分会」(大阪第一運輸所分会)

「多治見分会ニュース」(多治見分会)

「富士あざみ」(静岡地本東部支部富士分会)

た。出向者の労働条件は厳しいものがあり、改善が望まれる。

鈴木正 (静岡)

駅無人化の問題で利用者アンケートを取り組み、「駅員がいけないのはさびしい」「治安に不安がある」等、切実な声が寄せられた。この運動もさらに強化していききたい。この間、海外でも国内でも列車の事故が相次いでおり、国労としても安全問題を重視した取り組みが必要。組織拡大では貨物分会の取り組みをさらにすすめ、要求実現のためにも闘っていききたい。

「がん」の保障 < 生きるためのがん保険 Days(デイズ) >
Aflac 生きるためのがん保険 DAYS(デイズ) スタンダードプラン
保険期間: 終身(抗がん剤治療特約は10年更新) 契約年齢: 0歳~80歳、スタンダードプラン 入院給付金日額10,000円の場合
初めて診断確定されたとき がんの場合 一時金として 100万円
診断給付金 上皮内新生物の場合 一時金として 10万円
入院したとき 入院給付金 1日につき 10,000円
通院したとき 通院給付金 1日につき 10,000円
手術したとき 手術治療給付金 1回につき 20万円
放射線治療を受けたとき 放射線治療給付金 1回につき 20万円
抗がん剤治療を受けたとき 1カ月 10万円 (すべての保険期間を通じて通算600万円まで)
乳がん・前立腺がんのホルモン療法するとき 1カ月 5万円
訪問面談サービスと専門医紹介(このサービスは、株式会社法研が提供するサービスです)
プレミアムサポート
詳しくは、パンフレット(契約要約)をご覧ください。